玖珠町架け橋期のカリキュラム　《こすもす保育園・塚脇小学校》…玖珠ブロック

R6.4.1現在

5歳児

めざす子ども像

＜互いの違いを認め合い・助け合い・共に生きていく＞

● 自分の気持ちを伝えたり、友だちの思いや考えを受け入れたりする子

遊びや学びのプロセス

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

遊びに主体的にかかわり 友だちと一緒に楽しむ → 友だちと思いや考えを出し合いながら試したり、工夫したりして遊ぶ → ・友だちと共通の目的をもって、イメージを広げながら力を合わせて遊びを進めていこうとする ・自分なりの目的に向かって最後まで取組み、達成感を味わう → 友だちとのつながりを深め、互いを認め合いながら、自分たちで見通しをもって遊びや生活を進めていく

園で展開される主な活動／小学校の生活科を中心とした単元構成

五領域

- 体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む（戸外・友だちと一緒に・様々な遊具や用具などを使う）
- 友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を持って共有し協同する・伝え合う・工夫する・認め合う・相談する・協同する・見通しをもつ・折り合いをつける・ルールの共有など）
- 身近な自然や動植物に興味や関心を持ち、進んで関わる（遊びに取り入れる・季節の変化や不思議さ面白さに気づく・世話をするなど）
- 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう
- 数量や図形・文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる
- 自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう
- いろいろな素材を楽しみ、工夫して遊んだり、様々な方法で表現したりすることを楽しむ（つくる・かく・演じる・歌う）

自然や植物に興味や関心をもち、気付いたことを伝えたり、聞いたりしながら、友だちと一緒に生長を喜ぶ

【あさがおの生長を観察しよう】
☆言葉による伝え合い
☆自然との関わり
☆協同性

水に親しみを持ち、遊びに必要なものを自分たちで作ったり、工夫したりしながら、楽しむ

【水遊びをしよう】
☆健康な心と体
☆社会生活と関わり
☆豊かな感性と表現

夏から秋への移り変わりを肌で感じ、秋の自然を五感で感じる
自然にあるものを使い造形をすることで想像力を養う

【秋の季節を楽しもう】
☆健康な心と体
☆自然との関わり
・生命尊重
☆豊かな感性と表現

日本の伝統的な遊びや文化に触れ親しみを持つ
ルールや約束を守る事の大切さを知る

【伝承遊びを楽しもう】
☆協同性
☆道徳性・規範意識の芽生え
☆数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
☆言葉による伝え合い

冬の冷たい空気や氷、霜柱など季節の変化に触れ自然に興味をもつ
友だちと一緒に寒さに負けず、戸外で遊ぶことを楽しむ

【冬を楽しもう】
☆健康な心と体
☆自然との関わり
・生命尊重

自然に触れ合い土や泥の中で新たな発見を行い自主性や探求心を育む

【泥遊びをしよう】
☆健康な心と体　☆思考力の芽生え
☆自然との関わり
☆豊かな感性と表現

友だちと協力し、一緒に取り組むことの大切さを感じる
自分の目標に向け頑張り、達成感を味わう

【運動会】
☆健康な心と体　☆思考力の芽生え
☆豊かな感性と表現

友だちとのやり取りを楽しみ、助け合いながら、一緒に取り組むことの大切さを感じる
自分の目標に向け頑張り、達成感を味わう
友だちの作品を認め合う

【製作展】
☆健康な心と体
☆思考力の芽生え
☆豊かな感性と表現

就学への期待を膨らませ、自信や自覚を持ち、園生活をおくる

【1年間の成長を喜び、就学への期待をもとう】
☆健康な心と体
☆自立心　☆協同性
☆道徳性・規範意識の芽生え

"自分で何かを作りたい"と言う欲求を満たし、友だちと一緒に行う事で協調性を養う
友だちとコミュニケーションを図りながら、一緒に作り上げる喜びを感じる

【積み木で遊ぼう】　☆協同性　☆言葉による伝え合い　☆豊かな感性と表現

イメージを膨らませ、共有しながら遊ぶことで相手の気持ちを理解し会話を楽しむ
自分たちで決めたルールを守り、友だちと楽しんで遊ぶ

【ごっこ遊び】　☆協同性　☆社会生活との関わり　☆思考力の芽生え　☆言葉による伝え合い

久留島精神に基づく活動・・・　"久留島武彦記念館へ見学"　"製作展""絵本の読み聞かせ"

交流
＜小学校＞　6月＜はじめまして小学校＞身体あそび　10月～11月＜秋の製作＞　1月＜凧づくり＞
＜地　域＞　・こいのぼりのむし干しへの参加

【　】は遊び・活動例　☆は遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（到達目標ではない）

家庭・地域との連携

・子どもの育ちや学びを「見える化」　・架け橋期のカリキュラムについて発信

＜家庭＞・年長児通信"輝きの種
＜地域＞・

指導上の配慮事項

○援助・指導の留意点

○自己有用感を高めたり、体験を通して達成感が味わえたりできるような配慮（感謝の気持ちを伝えたり認めたりする）
○前向きで分かりやすい言葉かけの工夫
○主体性が育まれるよう、子ども自身が考えることができるための支援
○自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたりできるような配慮と工夫
○育ちに応じて、時に仲介役になり子ども同士の思いをつなぐ
○子どもの興味や関心を探り、遊びにつなげていく

◆環境構成

◆自然体験（生き物や栽培活動）ができる場の構成
◆期待や喜びをもち、意欲的に取り組めるような環境の構成

1年生

めざす子ども像

＜自分が好き・学校が好き・玖珠が好き＞

● 周りの人と協同して取り組む子　● 様々な事に興味や関心をもって意欲的に活動する子

遊びや学びのプロセス

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

人と関わる楽しさを感じ安心感をもって学習に取り組もうとする → 学校生活になれ、自己を発揮しながらめあて意識を持って取り組む → 主体的に自己を発揮しながら、課題の解決に向けて取り組む

●自分の気持ちを伝えたり、友だちの思いや考えを受け入れたりする子

○経験したことや考えたことなどを、相手にわかるように工夫しながら言葉で伝える（思・判・表の基礎）

○人の話を聞き自分と異なる考えに気づき互いの考えなどを共有する（知・技の基礎）

●周りの人と協同して取り組む子

○友だちと考えを共有し、共通の目的に向かって取り組む（学・人）

○友だちと協力したり、声をかけ合ったりしながら、活動に見通しを持って自分たちで進めていく（思・判・表の基礎）

●様々な事に興味や関心を持って意欲的に活動する子

○身近な環境に主体的に関わり、様々な活動を楽しむ中で、自分のやりたいことにあきらめずにやり遂げる（学・人）

○いろいろな遊びに目的を持って取り組み、工夫したり挑戦したりする（思・判・表の基礎）

各教科等の学びへ

スタートカリキュラム

『がっこう　だいすき』⑳
◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容
6月「顔合わせの会」
(2)家庭と生活
(8)生活や出来事の伝え合い
(9)自分の成長

☆自立心
☆道徳性・規範意識の芽生え
☆健康な心と体
☆自然との関わり・生命尊重

国語・算数・道徳・体育・図工・特活

安心をつくる時間
・弾力的な時間の運用
⇒生活科を中心とした学習活動
合科的・関連的学習活動
（例：図の中の太字の教科等）
⇒教科等学習活動

『じぶんで できるよ』⑫
◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容
(2)家庭と生活
(8)生活や出来事の伝え合い
(9)自分の成長

☆自立心
☆社会生活との関わり
☆健康な心と体

国語・道徳・特活・算数

『もうすぐ 2ねんせい』⑨
◎身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容
◎自分自身の生活や成長に関する内容

(4)公共物や公共施設の利用
(5)季節の変化と生活
(6)自然や物を使った遊び
(9)自分の成長

☆自立心
☆社会生活との関わり
☆言葉による伝え合い
☆豊かな感性と表現

国語・道徳・特活・音楽

『なつが　やってきた』⑧
◎身近な人々、社会及び自然に関わる活動に関する内容
(4)公共物や公共施設の利用
(5)季節の変化と生活
(6)自然や物を使った遊び

☆自立心　☆協同性
☆社会生活との関わり
☆思考力の芽生え
☆自然との関わり・生命尊重
☆言葉による伝え合い

国語・図工・音楽・体育・特活

『たのしい　あきいっぱい』⑳
◎身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容
10月～11月「秋の活動」
(5)季節の変化と生活
(6)自然や物を使った遊び

☆自立心
☆協同性
☆自然との関わり・生命尊重
☆数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
☆豊かな感性と表現

国語・図工・道徳・音楽・特活

『ふゆをたのしもう』⑨
◎身近な人々、社会および自然と関わる活動に関する内容
1月「冬の活動」
(4)公共物や公共施設の利用
(5)季節の変化と生活
(6)自然や物を使った遊び

☆自然との関わり・生命尊重
☆健康な心と体
☆豊かな感性と表現

国語・図工・体育・音楽

『はなを　さかせよう』⑧
◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容
(7)動植物の飼育・栽培

☆協同性
☆思考力の芽生え
☆自然との関わり・生命尊重
☆数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
☆言葉による伝え合い

国語・算数・図工・特活

『いきものと　なかよし』⑥
◎身近な人々、社会及び自然に関わる活動に関する内容.
(7)動植物の飼育・栽培

☆協同性
☆社会生活との関わり
☆自然との関わり・生命尊重
☆思考力の芽生え
☆豊かな感性と表現

国語・体育・道徳・音楽

久留島精神に基づく活動…「久留島武彦」の存在を知ろう　12月…久留島作品を見つけて、読んでみよう

交流
＜幼児教育施設＞ 6月…顔合わせの会　10月下旬～11月中旬頃…秋の活動（秋見つけ）　1月…冬の活動（たこづくり）
＜地　域＞　2月…塚脇小昔の遊び大会

『』は単元名　○は時間数　◎・( )は内容　☆は幼児教育からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

家庭・地域との連携

幼児教育とのつながり・架け橋期のカリキュラムについて発信

＜家庭＞ 学校だより、学級通信、家庭訪問、連絡帳など
＜地域＞ 学校だより、ホームページなど

指導上の配慮事項

○援助・指導の留意点

○成功体験を経験する中で認めたり褒めたりする
○自己肯定感を高めるための関わりの工夫
○課題の問いかけにはヒントを出したり見本を見せたりしながら、意欲的に学ぶための工夫
○自信をもって前向きに取り組むことができるように見通しをもたせ、励ます関わり
○自分の思いを伝えるための話し方・みんなが思いを出せるような配慮と工夫

◆環境構成

◆学習の足あとを見える化し褒め合える場の設定
◆自己紹介、音楽・図工・体育に遊びを取り入れる
◆話し合いにつなげていくため、学習や活動の中にペアやグループ活動を仕組む